

人と魚と海のネットワーク
香川県漁連ホームページ
http://www.jf-net.ne.jp/kagyoren/
E-mail:gyoren@kagawa-
gyoren.or.jp



JF 高松市北浜町 8 - 25
TEL 087-825-0350
J F 香川漁連 FAX 087-851-0699

合併計画の見直しへ向け具体的協議始まる

平成 10 年 3 月に香川県が策定した「香川県漁協経営強化基本方針」及び平成 11 年 3 月に県漁連が策定した「香川県漁協合併等基本計画」に基づき合併を推進した結果、合併件数 8 件、合併参加漁協数 20 組合の合併が行われ、平成 9 年度末 54 漁協が平成 15 年 11 月末には 41 漁協となった。

しかしながら、依然として経営基盤の脆弱な小規模漁協が多数存在しており、今後、県内全漁協において組合員の急激な減少、水揚げの減少、また、地区によっては平成 17 年度から海砂利採取が全面禁止となり漁業補償金の停止等により漁協経営が極度に悪化することが予想される。

このことから、平成 15 年 11 月開催の香川県漁協経営強化総合対策協議会において「方針」「計画」の見直しが協議され、5 ブロック会長会議に諮ることとなった。

平成 15 年 12 月に県内 5 ブロックの代表者で構成される 5 ブロック会長会議を開催し、一県一漁協構想あるいは県内漁協を 5 ブロックに再編等について協議した結果、このことを県内の全漁協へおろし協議することとなった。平成 16 年 1 月までに各ブロックで説明会を開催し、2 月に再度 5 ブロック会長会議を開き「方針」「計画」の見直しを行い、合併計画の目標を固め、3 月の両連合会の理事会で合併計画が承認された後、6 月の総会で機関決定する予定である。

からが正念場となる訳であるが、今となっては合併のメリット、デメリットを言っている状況ではなく、合併は今や必然性の段階にあり、海を、漁業を生かすには、また、将来ある組合員を生かすためにも合併を進めることが必至であり、目標に向け全力で取り組む所存である。 <組織強化推進室>

平成 15 年度、ノリの年内生産状況について

全国漁連のり事業推進協議会のまとめによると、平成 15 年 11 月・12 月のノリ生産（秋芽生産）は、水温が高く全国的に伸び悩み気味であったが、

各地とも栄養塩が豊富で良質のノリが生産された。しかし、九州有明地区は、摘採開始間もなく赤ぐされ病が蔓延し、生産は早目に終了した。その後、有明海地区は、12 月 4 日に冷凍網を出庫した。この冷凍網は比較的順調に生育し、品質の良いノリがとれたが、時化等で摘採できない日があり数量的には予定を下回った。

この結果、12 月末までの生産はかつてない不作となり、共販数量 14 億 8,013 万枚（去年同期比 51%）、共販金額 211 億 1,196 万円（去年同期比 67%）であった。平均単価は、14.26 円と去年同期（10.83 円）より 3.45 円高くなった。

一方、本県のノリ生産は、本年度は 11・12 月の栄養塩は十分あり、高水温による本張りの遅れ、日照不足による伸び悩み、芽傷み等も若干みられながらもほぼ順調で 12 月末までの共販数量 1 億 235 万枚（去年同期比 73%）、共販金額 12 億 4,080 万円（去年同期比 124%）、平均単価 12.12 円（去年同期比 5.01 円高）であった。

なお、本県の年明け後の生産はほぼ順調で相場も依然強いが、栄養塩が減少傾向にあり今後の動向が気かりである。

第 31 回高松地区乾のり品評会審査会開催

海苔生産技術と品質向上を目的に高松地区海苔養殖研究会（会長：地濱稔）主催の第 31 回高松地区乾のり品評会審査会が 1 月 16 日高松市瀬戸内漁業センターで開催された。

当日は、審査員に香川県漁連の海苔検査員を招き、地区会員全員から出品された 72 点（7,200 枚）の乾のりが審査会場に並べられ、審査基準に従って何度も見比べるなど厳正な審査が行われ、入賞が決定した。

また、出品された乾のりは、1 月 31 日・2 月 1 日の両日、サンメッセ香川で開催された高松市園芸展で入賞品の展示と PR 販売したほか、恒例により高松市内の「社会福祉法人 さぬき」と「讃岐学園」に焼海苔（各 800 枚）に加工して寄贈した。なお、入賞者は次のとおり。

第 3 1 回高松地区乾のり品評会受賞目録

賞 名	受 賞 者	ブ ロ ッ ク 名
市 長 賞 (団体賞)	香西漁業協同組合	
市 長 賞 (個人賞)	沖野 茂	香 西
香川県農政水産部長賞	中村 一則	屋島・男木女木
高松市議会議長賞	糸谷 春美	高松市瀬戸内
香川県漁業協同組合連合会長賞	吉原 和夫	香 西
香川県海苔養殖研究会会長賞	西口 義雄	直 島
(社)香川県水産振興協会会長賞	阿部 清隆	香 西
香川県信用漁業協同組合連合会長賞	阿部 高広	香 西
高松市漁業協同組合連絡協議会長賞	高橋 健二	直 島
高松地区海苔養殖研究会会長賞	大石 重男	香 西
ブ ロ ッ ク 賞	青木 繁	下笠居

高松海上保安部管内(高松、坂出、坂手)用途別海難発生状況(隻数)

	H15	H14	H13	H12	H11	合計
貨物船	16	22	19	16	22	95
タンカー	2	4	7	8	7	28
旅客船	1	2	1	1	0	5
プレジャーボート	44	54	52	28	35	213
漁 船	18	29	23	21	19	110
遊漁船	0	1	2	2	0	5
その他	6	3	13	2	9	33
合 計	87	115	117	78	92	489

第24回全国豊かな海づくり大会開催記念
「海を愛する子供たちの絵画・作文コンクール」
入賞作品の紹介

高松市長賞 [中学校の部]

「職場体験で学んだこと」

高松市立玉藻中学校 2年 沖 哲矢

6月18、19、20日と僕達玉藻中学校の2年は、職場体験に出かけた。

僕の夢は、必ず、漁師になるということで、どうしても水産関係の方へ行きたかったのでクラスの友達がスポーツショップや保育園などそれぞれ事前打ち合わせをしてどんどん決まっていくな、僕だけがクラスの最後まで決まらずにいた。さすがに困ったので担任の先生や母の力を借りて職場体験に行くギリギリの日にやっと屋島西町にある吉川水産という会社に決まった。決まった時は、とても嬉しかったが、その反面、1人で行くという不安が時間がたつにつれてこみ上がっていった。

いよいよ6月18日、不安と期待が入り混じった中、職場に行った。最悪なことにその日は雨で職場までの距離がとても長く感じた。

吉川水産という所は、魚の卵をかえし、少し大きくなった魚を養殖業者に出荷するまでの仕事をしている会社なので、今まで中学生を体験させたことがなく、僕以上に職場の人たちは不安を持っていたと後になって思った。僕を担当してくださった方は、松葉さんと田原さんで、松葉さんは名前が哲也だっ

平成15年の香川県海域における
海難及び人身事故状況

高松海上保安部は、昨年1年間の海難人身事故の状況をまとめた。

船舶海難の隻数は87隻(前年115隻)で、平成14年に比べ28隻減少し3年ぶりに100隻を下回った。また、船舶海難に伴う死亡・行方不明者は5人で、前年と同じであるが過去10年間で最多となっている。

船舶別の内訳は、プレジャーボート44隻、漁船18隻、貨物船16隻の順となり、プレジャーボートが全体の51%を占め、前年と比較してプレジャーボートは10隻、漁船は11隻の海難が減少している。

海難種類別の内訳は、衝突40隻、乗揚げ12隻、機関故障11隻、運行障害10隻の順となっている。海上保安庁の全国統計によると、ライフジャケットを着用していた場合の生存率は、船舶からの転落で92%、釣り中の事故では77%、非着用の場合いずれも50%台に落ちる。ジャケット着用率は、海中転落者37%、釣り中の事故者は21%だった。保安庁では、ライフジャケットの着用を呼びかけている。

たのでとても親しみを持てた。しかし、1 日目は、とてもきんちょうして普段、静かな方ではない僕だが、無口になってしまった。それでも担当して下さった方は、とてもなごやかな雰囲気、いろいろと教えてくださった。

まず、最初は、マダイの元親にビー玉位のエサを、2 kg ずつ 3 つの水槽に与えた。ピチャピチャという可愛い音をイメージしていたがバシャッ！バシャッ！というすさまじい音で食べたのでとても驚いてしまった。

朝 8 時から昼 3 時までの時間が学校の授業はすごく長く感じるのに、とても早く過ぎていった。しかし、とても疲れていた。

2 日目は、待ちに待った船で沖に連れて行ってくれた。ゆっくりと時間が過ぎ、思っていたよりずいぶん違ってしたが、帰ってからすごい船酔いをしたので母が、「そんなんでほんまに漁師になれるんな？」と言われ、腹が立ったが絶対に漁師になると決めているので後にはひけないと思った。

とうとう最後の日がきた。1 日目と同じ仕事だったが、ずいぶんと慣れていろいろと僕からも質問したりもした。

三日間という短期間ではあったが、オーバーではあるが、これからの人生が変わった。

僕は、水産高校へ行こうと思っていたが、水産大学へ進学するほうが、より魚や海のことについて詳しく学べると思った。だから、これから一生懸命勉強して、りっぱな漁師になっていこうと思う。そして僕が、年老いていったときに、若い漁師達に、海のすばらしさや魚の神秘を教えていきたい。

十年後の僕は船の上で・・・。

たようです。

最近、県下のスーパーでもこの日「福寿司」を置いているようなので、お知り合いの方を巻き込み海苔の消費拡大にご協力ください。

2 月 7 日は「北方領土の日」です！

1855 年(安政元年)2 月 7 日、日露和親条約締結。北方領土が日本の領土として認められました。

1981 年、北方領土返還運動を盛り上げるために日本政府が 2 月 7 日を「北方領土の日」に制定しました。

これにちなみ、香川県北方領土返還促進協議会(事務局：県政策部公聴広報課)では次の関連行事を行います。

1. 北方領土返還促進啓発キャラバン(街頭キャンペーン)

(日 時) 2 月 7 日(土) 10:00~15:15
(場 所) 県庁(出発式) 観音寺市(観音寺サティ) 善通寺市(パワーシティ善通寺) 丸亀市(フジグラン丸亀)

2. 北方領土問題講演会

(日 時) 2 月 12 日(木) 14:00~16:00
(場 所) マリパリスさぬき 2 階「瀬戸の間」
高松市福岡町 2 丁目 3 - 4
電話：087-851-6677
(講師) 環日本海経済研究所 所長 吉田 進 氏

問合せ先：香川県政策部公聴広報課
総務・報道グループ 山田・和泉
電話：087-832-3018

知っていますか？

2 月 3 日 節分の海苔巻寿司丸かぶり！



2 月 3 日の「節分」に太巻寿司を恵方に向かって丸ごとかぶりつくと「福」を呼ぶといわれ、今年の恵方は東北東です。「福」を巻き込み「縁を切らない」ということから巻寿司を切らずに丸かぶりとなったようです。

この風習は、もともと愛知県の方の風習らしく、1977 年に大阪海苔問屋協同組合が節分のイベントとして道頓堀で実施したのが、マスコミに取り上げられ全国のお寿司屋さんがこれに便乗して広まっ

主な行事予定(2/1~2/29)

- 2 月 7 日(土) 北方領土返還促進啓発キャラバン
- 10 日(火) 高松地域漁業者検討会
東讃・小豆地域漁業者検討会
- 12 日(木) 第 7 回のり入札
北方領土問題講演会
- 14 日(土) 三豊地域漁業者検討会
中讃地域漁業者検討会
- 16 日(月) さわら漁業者検討会
さわら流しさし網関係組合長会
- 27 日(金) 第 8 回のり入札